

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽基礎 4	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全専攻	開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2 単位	授業形態	講義		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	BAN		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
音楽制作に携わる人として必要な音楽基礎知識、音楽理論、音楽に関する文化、音に関する知識を学ぶ。まず音楽制作の現場で音楽上でのコミュニケーションを円滑に進めるためには、楽譜が読める、書くことができることは基本である。よって音やリズム、楽譜に関する知識、用語、理論を身につける。そして知識を覚えるだけでなく、「音」というものの性質を学び活用、応用できるようになることや、さらに音楽の背景にある科学、世界の文化や知識を得ることで、幅広い対応ができるスキルを身につけることを目的とする。					
到達目標					
本科目の到達目標は次のとおりとする。音響の仕事についた時、そしてその採用試験対策として必要な音楽のコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面の構成の仕方、音符休符の種類、リズムの表記法、音名を理解し、それらを読むことができること。音楽用語、標語、記号を覚えて書くことができ、活用できるようになること。コードについての音構成、表記を理解できるようになること。それらコードの響きの違いもわかるようになること。音を科学的に知り、聴けるような知識を身につけること。楽器の種類とその楽器に関する知識、音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ること。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、1年次の復習を交えながら学習する。覚えるべき重要箇所は板書してノートに書き写すことでことで理解を進める。授業内容によっては課題プリントを解くことで理解できることもあるので必要に応じてプリントを配る。授業後半では理論を覚えるだけでなく音楽への見識を広く得るために、音楽ジャンル分析や研究、画像で楽器の形を見たりその音を聞いたりし、その名前、性質や歴史などを学習する回を設ける。いろんな音に対する探究心を持つように進める。それらのレポートを提出することもある。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。必ず筆記用具、ノート、五線譜を用意すること。授業で使用したプリントやノートはいつでも振り返って確認できるように学んだ順にファイルして毎回の授業で持ってくる。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業中の私語、指示した時以外の携帯電話の使用や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法		割合	備 考		
	試験	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	トライアド メジャーコード		メジャートライアドの構成を理解しコードネームがわかる。		
2回	トライアド マイナーコード		マイナートライアドの構成を理解しコードネームがわかる。		
3回	トライアド aug sus4 m♭5		aug sus4 m♭5のコードの構成を理解しコードネームがわかる。		
4回	コード小テスト 音楽ジャンル研究		トライアドコードのまとめ、小テストで理解度をチェックする。後半は音楽ジャンル研究		
5回	4和音7th 音楽ジャンル研究		7thコードの構成が理解できコード名がわかる。 音楽ジャンル研究		
6回	7thコード小テスト 音楽ジャンル研究		7thコードの構成が理解できコード名がわかる。 音楽ジャンル研究		
7回	メジャーキーのスケール、調号 音階と周波数		メジャースケールの構成がわかる。♯系の調号の主音（key）がわかる。調号のつく順番がわかる。音と周波数の関係が理解できる。		
8回	〃		メジャースケールの構成がわかる。♭系の調号の主音（key）がわかる。調号のつく順番がわかる。音と周波数の関係が理解できる。		
9回	マイナーキー スケールと調号 音律について		3種類のマイナースケールが理解できる。メジャーキーとの関係（平行調）がわかる。音律の種類がわかる。		
10回	メジャー、マイナースケールと音律の小テスト		小テストでスケールとキーの理解度をチェックする。音律の種類が覚えられているかチェック。		
11回	メジャーKeyダイアトニックスケール		ダイアトニックコード名がわかる。		
12回	メジャーKeyダイアトニックコード		ダイアトニックコードのディグリーが理解できる。		
13回	〃		コード機能（T、D、SD）がわかる。		
14回	ダイアトニックコード小テスト。		ダイアトニックコードを使った曲を分析することができる。		
15回	前期まとめ		後期の重要な箇所のまとめて、理解してなかったところや覚えてなかったところをわかるようにする。		